

## 【福島市】

会 議 名	平成30年8月臨時記者会見
日 時	平成30年8月22日（水） 午前9時30分～10時30分
場 所	庁議室

発言者	内 容
広報課長	<p><b>開会</b> ただいまから臨時記者会見を開会します。それでは、市からの発表事項について一括して市長からご説明申し上げます。</p>
市長	<p><b>市からの発表事項</b> <b>9月市議会定例会議提出議案</b> それでは私から、この9月市議会定例会に提出する議案のご説明をさせていただきます。まず、提出議案としては予算関係が7件、決算認定が4件、条例関係6件、その他の議案が8件、報告7件の合計32件となっております。予算関係で申し上げますと、平成30年度の福島市一般会計の補正予算27億6,200万円余の増額補正をいたします。内容についてはまた後ほどご説明させていただきます。</p> <p>主な条例を申し上げますと、議案の13の「福島市頑張るふくしまっ子復興夢応援基金条例制定の件」ですが、頑張るふくしまっ子の復興夢応援基金というのを設置するためにこの条例を設けます。内容としては大震災からの復興を担って、そして夢や希望を持って頑張る子どもたちを応援する事業を効果的に推進するために基金を設置するというものです。基金はまず500万円を原資に創設します。全国大会などで優秀な成績を収めた市内の小中学校などに対して更なる活動推進に必要な備品などを支給することによって活動を支援していこうというものです。</p> <p>続いて15番ですが、サンスカイつちゆ条例を廃止する条例制定の件です。この条例を廃止するわけですが、理由としてはみなさまご承知のように、土湯温泉町地区では都市再生整備計画事業において中之湯ですね、新しい公衆浴場とか、まち興しセンター、観光交流センターというものの施設整備を進めております。これまで従来、サンスカイつちゆが担っていた役割というのは、こちらの新しい施設に代替し、移っていくこととなりますので、このサンスカイつちゆに関しては役割は終了したということで条例を廃止いたします。廃止の根拠は、開館以来30年を迎えまして、かなり施設の老朽化が進んでいて安全管理上も懸念があるということもありまして今回廃止をさせていただきます。なお建物は</p>

## 【福島市】

今後除却をいたしまして更地とする方針でございます。ただ、地区の避難場所としての指定は継続いたしまして、今後どのように平常時に利用していくかについては、地元のみなさんと話し合いをしていきたいと思っております。

それから16番の「福島市立認定こども園条例制定の件」ですが、福島市立の幼保連携型の認定こども園の設置をするために条例を設けるものでありまして、条例の内容は新たに3つのこども園、ふくしま中央認定こども園と、ひらの認定こども園、そしていいの認定こども園の3つを設置するものであります。定員はそれぞれ195名、180名、90名となっております。待機児童をはじめとする子どもたちの受け入れ環境、保育環境の充実に役立つものと考えております。内容としては名称、位置、定員のほかに入園資格とか開園時間、休園日、使用料などを設定するようにいたします。

20の議案の「工事請負契約の件」は、一般廃棄物の新最終処分場の建設工事につきまして請負契約を締結しようというものでございます。建設工事の本体は、平成30年度から平成33年度までの4カ年になりますが、平成33年度中の供用開始を指しております。金額を見ますと32億2,596万円という形になっております。

それから25番の「財産取得の件」、これは消防本部における高機能消防指令システムの更新に要する経費でございます。

5億3,978万4千円で契約を締結するものであります。補正の中身につきましては、まず復興の関係で申し上げますと地域振興施設整備事業費2千2百万円。これは大笹生インターのループの中に整備予定の道の駅の外構設計を進めて平成32年度の完成・施設オープンを目指すという内容であります。

それから復興関連以外で申し上げますと、1番のインバウンド推進事業費、これは31年度の花見山観光シーズンなどに向けまして新たに英語、タイ語、繁体字の観光パンフレットを作成するとともに、案内表示を多言語化して英語案内などを併記することでインバウンド対応の更なる強化を図っていこうというものであります。

それから2番が公立認定こども園の整備事業費、児童福祉施設等整備事業費であります。これは先ほどの3つのこども園を来年4月の開園に向けて改修整備を進めるとともに、民間が設置する小規模保育事業所の整備費用を補助して待機児童の解消を目指そうというものであります。

それから3番目、洪水・土砂災害ハザードマップ作成事業費ということで新たな洪水浸水想定区域等を踏まえた最新のハザードマップにつきまして、防災タウンページを活用して全世帯・全事

## 【福島市】

	<p>業所へ配布し市民に周知を図ろうというものであります。それから同じく災害関係になりますが、河川整備の市単事業費ということで、祓川等において浸水対策を実施するものであります。</p> <p>それから地域公共交通活性化事業費、これもインバウンド関係ですが、観光案内所や市内宿泊施設などに多言語版の公共交通マップを配布いたしまして、外国人旅行客の利便性の向上に努めようというものであります。</p> <p>それから6番は、小中学校の屋内運動場耐震補強事業費でありまして、これは小学校2校、および中学校4校の耐震補強設計を2カ年度で実施するものであります。</p> <p>それから大きな事業になりますが、学校ICT環境整備事業費ということで、平成32年度からの新学習指導要領の実施を見据えまして、教育のICT化にむけた環境整備を進めるために、小中学校29校に無線LAN環境を整備して、教職員を対象としたICT研修に必要な機器等を整備しようというものであります。</p> <p>最後はブロック塀安全対策事業費であります。これは大阪北部地震を受けまして、市ではブロック塀の点検をやっておりましたが、早急に整備をするということで小学校14校、中学校6校、保育所6つを含む、他の市の関連施設もありますけども、こういったものを中心にブロック塀の補修をしようというものであります。また、民間の施設に関しても、前に市の方ですでに制度は設けていると申し上げましたが、そういった面での金額を300万円ほど計上いたしました。こちらも促進しようというものであります。私からの説明は以上であります。</p>
<p>広報課長</p>	<p>それでは、ただいまの発表事項につきまして、質疑応答に移ります。ご質問のある方は挙手指名ののち、社名と名前をおっしゃっていただき発言をお願いいたします。発言時はお席の方のマイクのスイッチの操作もお願いいたします。それでは挙手をお願いします。</p> <p>ご質問ございますか。</p>
<p>市長</p>	<p>今までみなさんからご指摘いただいたものが多いんですけども。今回はインバウンドとかブロック塀とか。</p>
<p>記者</p>	<p>インバウンド対策の公共交通マップは何箇所くらい設置するのでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>事務方わかりますか。</p>

## 【福島市】

財務部長	<p>インバウンドの推進事業ということで多言語案内板とかの設置場所等については花見山公園周辺とか道路、駐車場などで案内をして花見山に来てもらおうという形で。</p> <p>あと多言語観光パンフレットについては、今のところ約5千部ほど作って花見山事務所の方に設置したり、プロモーションによる活用など多方面に活用しながら花見山に来たいと思えるような内容です。</p> <p>あと公衆浴場のインバウンド受け入れについては市長からご説明ありましたがホームページの方で外国人の方も安心して温泉につかれるように、そういった関係での案内表示を考えております。</p>
広報課長	他にございましたらお願いします。
記者	今のパンフレットで完成形というか実物が出来上がったらできれば写真を撮って「これから始めるよ」という記事が書ければ。
市長	はい、それはこれからなので、年度内では間違いないですけどね事業としては。そこは原課に聞かないとですね。
広報課長	他にございますか。
記者	ブロック塀の安全対策事業費ですが、市民が実施するブロック塀撤去にかかる費用の一部を助成するとあるんですけども、先日市長が市として生垣にする際には助成を設けるという制度があるとおっしゃっていたと思うのですが、それは生垣でないにしろ撤去ということですか。
市長	個人が行うブロック塀の撤去にかかる費用を助成するというものです。
記者	撤去だけですか。生垣に変えるのとは別ですか。
市長	生垣は別制度です。これは市単独の制度になります。
広報課長	<p><b>閉会</b></p> <p>他に質問がないようですので、以上をもちまして、9月市議会定例会議にかかる臨時記者会見を終了いたします。</p>